

【NEWS RELEASE】

2022年8月31日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「SMBCグループ TCFD レポート 2022」の発行について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、「SMBCグループ TCFD レポート 2022」（以下、本レポート）を発行いたします。

SMBCグループは、2017年12月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同を表明して以降、積極的な気候変動対応を実施しております。2019年には、グローバル金融機関として初めて気候変動リスクの財務的影響を試算・開示したほか、2022年には電力、エネルギーセクターにおける投融资ポートフォリオ温室効果ガス（Greenhouse Gas/GHG）排出量の削減目標を公表し、取組を加速させています。

本レポートには、直近1年間のSMBCグループの取組内容を新たに記載しております。追加する開示事項のポイントは以下の通りです。

1. ガバナンス体制の高度化

SMBCグループは、2022年度より、サステナビリティへの態勢強化を目的に、「サステナビリティ本部」および「環境社会リスク管理室」を設置いたしました。また2022年度より、役員報酬制度に定量的なESG評価項目を導入し、気候変動対応を含むサステナビリティ関連の長期目標の達成度等を役員報酬に反映させております。

本レポートでは、気候変動ガバナンス体制に関する新たな取組として、サステナビリティに係る組織改定、役員報酬体系の高度化について記載いたしました。

2. 移行計画の策定

SMBCグループは、2021年に「気候変動対策ロードマップ」を策定し、脱炭素社会の構築に向けた先進的な取組を進めております。

今般、「気候変動ロードマップ」を「ネットゼロ実現に向けた移行計画」としてアップデートし、本レポートに記載いたします。この移行計画は、2050年ネットゼロ目標の達成に焦点を定めたSMBCグループの一連の目標と行動を、体系立てて明確化したものです。移行計画の遂行により、移行リスクの低減と脱炭素化に伴う成長機会の拡大に努め、ネットゼロ実現を目指してまいります。

3. 気候変動シナリオ分析の高度化

SMBCグループは、グループの中核企業である三井住友銀行において、物理的リスク・移行リスクに関するシナリオ分析を実施しており、想定されるリスク量を算定しております。昨年度のTCFD

レポート公表以降、物理的リスクに関して、IPCC 第 6 次報告書におけるシナリオに沿った分析を新たに実施したほか、移行リスクに関して、分析対象に自動車・鉄鋼セクターを追加いたしました。

本レポートでは、分析プロセス及び算定結果に関して、上記の見直し内容を含めた詳細を記載しております。

4. 「セクター・事業に対する方針」の一部改定

SMBC グループは、気候変動に影響を与える可能性が高いセクター・事業に対する方針を策定しております。各方針は、外部環境を踏まえ定期的に見直しが行われます。

今般、石炭火力発電、炭鉱採掘、パーム油農園開発、森林伐採向け方針の一部改定を実施いたしました。本レポートでは、各セクターにおける改定後の方針を記載しております。

5. 投融資ポートフォリオ GHG 排出量の中期削減目標の追加策定

SMBC グループは、2050 年におけるネットゼロ達成に向けて、各セクターにおける投融資ポートフォリオ GHG 排出量の中期削減目標を策定しております。

今般、本年 5 月に策定した電力セクターに加え、石油ガス・石炭セクターの投融資ポートフォリオ GHG 排出量の中期削減目標を策定いたしました。本レポートでは、三井住友銀行のコーポレートファイナンス及びプロジェクトファイナンスを対象として、各セクターにおける投融資ポートフォリオ GHG 排出量の算定プロセスと現時点での試算結果、および中期削減目標を記載しております。

SMBC グループは、お客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献し、開示の拡充に努めてまいります。

(URL)

https://www.smfg.co.jp/sustainability/materiality/environment/climate/pdf/tcfd_report_j_2022.pdf

以 上